



ヒゲナガサシガメ幼虫

① 平塚市高根 同定：—
② 2025年3月中旬 備考：—
③ 武末範子



オオモンシロナガカメムシ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月下旬 備考：標本あり
③ 富岡誠一



キマダラカメムシ

① 平塚市岡崎 同定：—
② 2025年4月中旬 備考：国外外来種
③ 海老澤顕寿



ラクダムシ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 堀田佳之介



コクワガタ♂

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月下旬 備考：—
③ 山川梨乃



カブトムシ幼虫

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 笠塚大



クロハナムグリ

① 小田原市久野 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 堀田来佳



ジョウカイボン

① 平塚市土屋 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 高橋恵利佳



ヒメオビオオキノコ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：標本あり
③ 柴澤翔



ヒメオビオオキノコ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月下旬 備考：—
③ 瀬戸康太



ムーアシロホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 笠塚大



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年3月中旬 備考：—
③ 一瀬希織



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年3月中旬 備考：—
③ 矢島夢姫



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月中旬 備考：—
③ 荒川弥



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月中旬 備考：—
③ 堀部信城



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月中旬 備考：—
③ 吉田奈央



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 山川梨乃



ナナホシテントウ前蛹

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 宮森鈴葉



ナナホシテントウ蛹

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 佐藤玲愛



ナナホシテントウ蛹

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 山口穂葉



ナナホシテントウ蛹

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 長塚杏



ナナホシテントウ蛹

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 船津謙人



ナナホシテントウ蛹

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 門倉あん



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 原優聖



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 田淵風



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 嶋津達人



ナナホシテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 香川結利



ナナホシテントウ

① 平塚市上吉沢 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 高橋恵利佳



ナミテントウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 小西碧



ナミテントウ幼虫

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月下旬 備考：—
③ 嶋津達人



サトミアシゴミムシダマシ

① 平塚市岡崎 同定：—
② 2025年4月中旬 備考：—
③ 海老澤顕寿



クロカミキリ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 岩本恵実



シナノクロフカミキリ

① 横浜市区金沢区釜谷東 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ ホンチ相模参加者



ヤハズカミキリ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 小西碧



キベリクビソソハムシ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 堀田佳之介



ハッカハムシ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 斎藤壮汰



クロハネシロヒゲナガ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 堀田佳之介



クロモンベニマルハキバガ

① 平塚市土屋 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 堀田佳代



イラガ繭

① 平塚市万田 同定：—
② 2025年3月中旬 備考：—
③ 武末範子



オオギンズジハマキ

① 横浜市区金沢区釜谷東 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 富岡誠一



タケカレハ幼虫

① 平塚市土屋 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：毒針毛あり注意
③ 荒井啓三



ウンモンズメ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月中旬 備考：—
③ 井上愛菜



オオスカシバ

① 平塚市鎌 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 荒井啓三



ホシオビコケガ

① 平塚市土屋 同定：—
② 2025年4月中旬 備考：—
③ 山本幸喜



アケビコノハ幼虫

① 平塚市万田 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 武末範子



アオバセリ

① 清川村煤ヶ谷 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：県RDB2006 要注意種
③ 露木和夫



ジャコウアゲハ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月上旬 備考：—
③ 小西碧



ジャコウアゲハ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 門倉あんな



アゲハチョウ (ナミアゲハ) 幼虫

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 小西杏



アゲハチョウ (ナミアゲハ)

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 小西碧



ナガサキアゲハ

① 平塚市岡崎 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：2024年12月21日
③ 下田梨々美 撮影の幼虫と同個体 (飼育)



ナガサキアゲハ

① 平塚市岡崎 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：2024年12月21日
③ 下田梨々美・采芽 撮影の幼虫と同個体 (飼育)



アオスジアゲハ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 佐藤幸弥



アオスジアゲハ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 森野陽人



アオスジアゲハ

① 清川村煤ヶ谷 同定：—
② 2025年5月上旬 備考：—
③ 露木和夫



アオスジアゲハ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 堀越日向



モンキチョウ

① 平塚市岡崎 同定：—
② 2025年4月上旬 備考：—
③ 海老澤顕寿



モンシロチョウ

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 小山田大樹



ベニシジミ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：鱗粉が取れてしまっ
③ 沢田拓音 ている



テングチョウ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：—
③ 富岡誠一



アサギマダラ幼虫

① 平塚市高根 同定：—
② 2025年3月中旬 備考：—
③ 武末範子



ツマグロヒョウモン♀

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 親子仲良しデー参加者



アサマイチモンジ

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：県RDB2006絶滅危惧
③ 沢田拓音 II類



ルリタテハ幼虫

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 岩本恵実



アカボシゴマダラ (名義タイプ亜種)

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：特定外来生物
③ 佐藤瑛麻



ヒメウラナミジャノメ

① 平塚市万田 同定：—
② 2025年5月下旬 備考：—
③ 齋藤壮汰



アメリカザリガニ

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：特定外来生物
③ 横山さち



アメリカザリガニ

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：特定外来生物
③ 三日尻悠馬



アメリカザリガニ

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：特定外来生物
③ 杉山深空



アメリカザリガニ

① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：特定外来生物
③ 門倉あん



サワガニ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：—
③ 栗山藍斗



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：—
③ 石川裕大



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：—
③ 高木柊



サワガニ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：—
③ 平野楓果



サワガニ♀

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月上旬 備考：—
③ 村田佑燈



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 吉田奈央



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 宮田イブラヒム



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 佐藤龍虎



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 山口健策



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 嶋津澁人



アカイソガニ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 岩本恵実



ミスガイ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ ハルゼミ調査参加者



クロウミウシ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ ハルゼミ調査参加者



クモハゼ

① 真鶴町真鶴 同定：齋藤和久
② 2025年5月中旬 備考：—
③ ハルゼミ調査参加者



ヒガシニホンアマガエル

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月下旬 備考：—
③ 小松颯真



ニホンカナヘビ

① 平塚市めぐみが丘 同定：—
② 2025年5月下旬 備考：—
③ 高橋茂



ヒガシニホントカゲ

① 平塚市土屋 同定：—
② 2025年3月中旬 備考：県 RDB2006 要注意種
③ 山本幸喜



ヒガシニホントカゲ

① 平塚市万田 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：県 RDB2006 要注意種
③ 松田蘭叶



ヒガシニホントカゲ

① 伊勢原市岡崎 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：県 RDB2006 要注意種
③ 柴澤翔



ヒガシニホントカゲ

① 平塚市めぐみが丘 同定：—
② 2025年5月下旬 備考：県 RDB2006 要注意種
③ 高橋茂



シマヘビ

① 平塚市上古沢 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：県 RDB2006 要注意種
③ 高橋恵利佳



ヒバカリ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年4月上旬 備考：県 RDB2006 準絶滅危惧
③ 村田佑燈



カルガモ

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2025年5月中旬 備考：—
③ 富岡誠一



モズ

① 平塚市岡崎 同定：—
② 2025年4月上旬 備考：県 RDB2006 繁殖期・減少種
③ 海老澤顕寿



ソウシチョウ

① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2025年3月下旬 備考：特定外来生物
③ 館野潤

DATA

創刊号からの累計

939種

昆虫類 710種 (New9種)

コチャイロヨコバイ・ナベタムシ・シナノクロフカ
ミキリ・ヤスガミキリ・オオギンシジハマキ・クロ
モンベニマルハキバガ・クロハネシロヒゲナガ・ホ
シオビコケガ・アオハセセリ

その他 229種 (New4種)

ミスガイ・アカイソガニ・クロウミウシ
・クモハゼ

※種名が判明したものに限り

END



生きものと友だちになろう。

アメフラシを手にとって～真鶴三ツ石海岸



2025 Mar.- May

平岡の自然教育の今

Report on nature education at Hiraoka Kindergarten

平岡幼稚園では、本誌の出版活動をはじめ、さまざまな形式で自然教育を行っています。このコーナーでは、親子自然観察会、生物の調査活動、広報・啓発活動などを中心にお伝えします。

1 大磯丘陵のヒグラシ調査(続報)

●文献紹介 日本セミの会機関紙「Cicada」に掲載

2023年夏に大磯丘陵でヒグラシを調べたことは、本誌Vol.33で紹介しましたが、翌夏(2024年)も一部の園関係者で調査を行いました。その結果が2025年3月発行の日本セミの会機関紙「Cicada」に掲載されましたので紹介します。

大磯丘陵では淡色個体が多く出現しているという2023年の調査結果と同様に、2024年も大磯丘陵の8カ所(うち2カ所は新規)で多くの淡色個体が採集されました。これらの結果は、恒常的に淡色個体の出現割合が高い傾向があることを示すものと考えられます。また、その出現割合は、大磯丘陵の東部で高く、西部では低かったことから、大磯丘陵内でも淡色型の出現率が異なる可能性を示唆する結果となっています。

【引用文献】

林 正美・堀田佳之介 2025. 神奈川県大磯丘陵のヒグラシ. Cicada 32 (1): 21-22.



1/ヒグラシの淡色型(胸部の黒色～暗褐色の斑紋が消失している個体)。大磯丘陵では淡色個体の出現割合は全国的に見ても高く、大磯丘陵のヒグラシの大きな特徴と言える。

2/羽化直後のオス。この時点では淡色タイプなのか標準タイプなのかはわからないため、体の色ははっきりするまで待つ必要がある。

2 「平塚市で12月にアゲハチョウを目撃」

●文献紹介 2022年の発見記録を
三浦半島昆虫研究会の機関誌へ投稿

2022年12月のこと、本誌図鑑コーナー「みんなで作る生きもの図鑑」に、12月に撮影されたアゲハチョウの仲間 *Papilio* sp. の写真が届きました。アゲハチョウなのかキアゲハなのか判別が難しい写真であったため、蝶の専門家である中村進一さんに同定依頼をしたところ、アゲハチョウ *Papilio xuthus* であることが判明しました。野外での確認例としては、とりわけ時期が遅い記録であることから、中村さんより三浦半島昆虫研究会の機関誌「かまくらちょう」への投稿を勧めいただき、2025年2月28日発行の第101号に掲載されました。

「かまくらちょう」101号は諸事情により出版が遅れてしまったようで、長らく時間がかかってしまいましたが、本誌の出版活動の成果としてここにをご紹介します。湘南自然誌に写真を投稿していただいた志澤宏一さんと、中村進一さんに感謝いたします。

【文献情報】

志澤宏一・堀田佳之介, 2025. 平塚市で12月にアゲハチョウを目撃. かまくらちょう, (101): 21.



3 「母のひろば」(童心社)へ寄稿

●平岡幼稚園の取り組みがコラムに

湘南自然誌をいつも読んでくださっている作家の嶋田康子さんより、絵本や紙芝居の老舗出版社「童心社」とのつながりをいただき、この度、童心社が出版する「母のひろば」という小冊子への寄稿依頼を受けました。

「平岡幼稚園では、なぜ自然や生き物への関心や理解を深める取り組みをしているのか」「子どもたちが生き物へ関わるのがなぜ大切なのか」といったことを掲載したい等の要望をいただいたので、『子どもの自然体験が秘める可能性』と題して平岡幼稚園の取り組みを書いてみました。ご興味のある方は、童心社HPよりPDF(ランダムで既刊号が表示されます)をダウンロードしていただくか、もしくは園へお申し出ください。見本誌を差し上げます(部数限定)。



1/『母のひろば 第732号』童心社(2025年5月15日発行、定価50円)。1963年創刊のこの小冊子は、子どもをとりまく環境や問題について情報発信するために、営利目的ではなく会社の精神として毎月出版しているようだ。年間購読料600円(送料込)。

2/掲載された誌面「子どもの自然体験が秘める可能性」(P4-5)。

4 平岡の森ビオトープ観察会

● 2025年3月21日(金) 10:00～12:00
26日(水) 10:00～12:00

平岡の森は、2009年よりビオトープ(Biotop=野生生物の棲み処)として管理をしている平岡幼稚園の施設です。住宅地の一角に位置し、決して恵まれた立地ではないのですが、1,206㎡の敷地に生きものが好む環境を創出しています。周囲から生きものを呼び込むスタイルで管理を続け、今では多様な種類の生きものが集まってきていて、地域の生きもののオアシス的な存在となっています。

2025年3月21日、3月26日の2日間、平岡の森ビオトープで親子観察会を行いました。まだ寒さが残るこの時期、あまり多くの生きものは見つかりませんでしたが、恒例の「家族対抗サワガニ探し大会」では、そこそこの数のサワガニが見つかり、「最高匹数」「大物賞」の家族を表彰しました。ほかにも、セリを摘みをしたり、ヤゴ探しをしたり、ツリーハウスで遊んだりしながら、春の平岡の森の探検をみんなで楽しみました。



サワガニを求めて、親子で水辺を探し回る参加者。ボツボツと樹木の芽吹きが始まった平岡の森だが、まだ多くのサワガニが姿を見せず、みんな苦戦していた。



1／平岡の森にはお遊びスポットが盛りだくさん。ツリーハウスではおままごとが盛り上がった！ 2／オオキバナカタバミの葉で10円玉を擦るとピカピカになる。まるで魔法のようだ。3-4／サワガニ探しのついでにヤゴ探し。オニヤンマのヤゴが大量に見つかった。



優勝商品は下敷き「雑木林の生き物 セミ類」(地球工作所／550円)だ。その他に参加賞として、金目川の魚全種が掲載される図鑑「金目川の魚類」(西巻肖・北野忠著／非買品)を進呈した。



「家族対抗サワガニ探し選手権」の集計作業の1コマ。みんなで協力して数えた。誰が一番多いのか、ドキドキ・ワクワクの瞬間である。

5

2025年度 神奈川県内のハルゼミ調査

● 2025年5月11日（日）8:00～12:00

平岡幼稚園では、園の事業の一環として、2015年より神奈川県内のハルゼミの分布状況を調べています。2025年も引き続き調査を行ったので、活動の様子を少し紹介します。（調査結果の詳細は日本セミの会の機関誌に投稿予定です。）

【県立真鶴半島自然公園の合同調査】

神奈川県でハルゼミを最も容易に観察できる場所は真鶴半島です。相模灘に突き出したこの半島は、温暖なためか県内の他産地よりも出現時期が早く、4月中旬～下旬には羽化が始まります。そんなシーズン開幕を告げる真鶴での調査を皮切りに、毎年、県内各地の調査を展開しています。今年の調査は悪天候で延びてしまい、5/11（日）に実施しました。例年より時期的に遅かったためか抜け殻は見つかりませんでしたが、成虫の観察には絶好のタイミングでした。当日は朝8時には合唱が始まり、みんなで成虫を探しました。日当たりのよいマツの樹冠付近で鳴くハルゼミは、なかなか姿を見ることが難しいのですが、今年はいくつかのオスに出会うことができて、とてもラッキーでした。

【県内の調査】

これまで行った10年間の調査で、大方目ばしい場所は調査ができたので、今年は既産地を少しチェックしただけで終わりました。



真鶴のクロマツは背が高いため、高い場所にいることの多い成熟したオスは、なかなか姿を見るチャンスがない。今年は運よく2匹を間近で観察することができた。



ナマコ的一种



ミスガイ

アメフラシ



ミスガイ



ヒライソガニ

クモハゼ

見つけた生きものを持ち寄り、参加者でどれが1番かを部門別に決めてみた。キモイ部門は「ナマコ的一种」、綺麗部門は「ミスガイ」、すごい部門は「アメフラシ」、カッコいい部門は「ヒライソガニ」となった。

ハルゼミ調査の合間に磯遊び

海と森が繋がる真鶴の海岸は、多様な生きものを育む豊かな海。せっかくなので、ハルゼミ調査の合間に海岸に降りて磯遊びをしました。ちょうど干潮と重なり、磯遊びには絶好のコンディション。水着持参でダイナミックに遊んでいる子もいて、みんなで夢中になって生きもの探しを楽しみました。



岩礁帯に囲まれる三ツ石海岸は、引き潮になるとあちこちにタイドプールが現れる。半島先端から番場浦までは遊歩道があり、磯場遊びだけでなく、海岸線の散策も楽しめる。





心が育つ 幼児教育

吉田先生編 #16 春を知らせる生き物たち

センダイムシクイ

春を知らせる生き物たち

冬枯れで落葉した林に差し込むやさしい光。早春は光合成を行う林床の植物にとってかけがえのない季節だ。この時期にしか見られない植物の中に、「スプリングエフェメラル（春の妖精）」と呼ばれるものがある。例えばユリ科のカタクリの花。開花期間は2週間程度で、その清楚な美しい姿に出会えた時の喜びは格別だ。

ツマキチョウやギフチョウもスプリングエフェメラルと呼ばれることがある。ツマキチョウは身近なところで見られるので、皆さんも気軽に春の訪れを感じることができらう。一方ギフチョウは、その昔は厚木市の自宅近辺の山でもよく出会うことのあるチョウだったが、残念ながら今神奈川県では絶滅の危機に瀕している。

苔（コケ）からも春を感じることができる。私のお気に入り、牧野富太郎博士に因んだ名を持つマキノゴケだ。林の中、湿った地面や倒木の上で、春先の短い期間大きな胞子体をつけるのだ。

ウグイスも「ホーホケキョ」と鳴いて春を知らせてくれる。日本では古くより「春告鳥（はるつげどり）」と呼んで親しまれてきた鳥だ。センダイムシクイという「焼酎一杯グイー」と鳴く鳥も、私たちに春を告げるように4月頃に東南アジアの方から渡ってくる。その鳴き声が山道で何処からともなく響き渡るのを私は毎年楽しみにしている。

生き物たちが躍動しはじめる春は、私にとって得がたい幸福感を与えてくれる季節だ。春を告げる動植物たちは、子どもたちにもきっと幸せな時間を運んでくれるだろう。

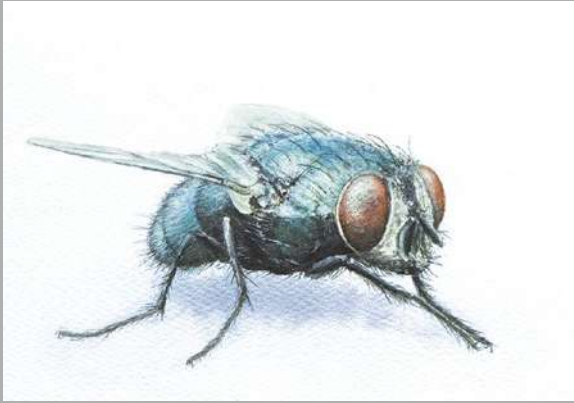


文・写真 吉田 文雄

鹿児島大学卒。元小中学校理科教諭。公立中学校校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。著書に、『あつぎ自然歳時記』（国書刊行会）、『自然は友たち 春夏編』（神奈川新聞社）などがある。



1/ツマキチョウ 2/ギフチョウ 3/マキノゴケ 4/カタクリ 5/ウグイス



第17回 知育ゲーム

出題：編集部 画：富岡誠一

ハエはよく前脚を合わせてもみもみこすって
いますが、何をしているのでしょうか？

(イラストはキンバエの仲間)

(答えは下の欄)

Back Number

過去号閲覧

● **ダウンロード** 平岡幼稚園HPからPDFがダウンロードできます。

● **頒布** 無料で各号ひとり1部に限り、平岡幼稚園にてお渡ししています。(※ 要事前連絡)
ikimono@hiraoka-kg.com もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで

● **配架・所蔵** 以下の施設でも閲覧できます。

【**図書館**】国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図書館、横浜市立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館、※秦野市立図書館、鶴見大学図書館 ※印は蔵書登録なし

【**博物館等**】県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館、観音崎自然博物館、茅ヶ崎市博物館

【**その他の施設**】神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、県立足柄ふれあいの村、秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののはな館、箱根町立森のふれあい館、はこね・おだわら昆虫館、平塚市立びわ青少年の家、平塚市町内福祉村おかざき鈴の里、うみねこ博物館、平塚市立土屋霊園、Mushi・sha(むし社)



湘南自然誌 PDF 版
hiraoka-kg.com/culture/



Publisher

発行元

HIRAOKA Kindergarten 平岡幼稚園



主な受賞歴

2014年 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に選定
2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
2019年 かながわ地球環境賞(神奈川県)
2020年 日本生態系協会賞(公財・日本生態系協会)
2021年 地域環境保全功労者表彰(環境省)



website

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生物を呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行っています。1967年開園、園地総面積7716㎡。

Answer 知育ゲーム答え

答え≫ 汚れを落としている

ハエは脚の先の毛に味を感じる機能があるため、ために脚をこすって汚れを落とすおようです。世間ではイメージのあまりよくない昆虫ですが、意外にも綺麗好きなおようですね。

Editor's Note

編集後記

今回特集で取り上げた「ホンチ相撲」。私たちも実際に体験してみたのですが、2匹のクモを戦わせるだけという、とてもシンプルな遊びでありながら、今までの遊びに勝るとも劣らない様々な魅力が詰まった遊びでした。大がかりな仕掛けなしに仲間と一緒に楽しめて、同時に生きものに対する理解も増していく、古き良き昭和の遊び。娯楽にあふれる今も、あらためて見直す価値があるように感じました。ホンチ相撲を体験してみたい方は、是非毎年5月3日に金沢自然公園で開催される横浜ホンチ保存会主催の大会に参加してみてください。

最後に、生きものの同定などに協力して下さった先生方に感謝申し上げます。(富岡)

特集 ホンチ相撲

昭和三十年代、横浜の子どもたち
を夢中にさせたホンチ相撲。消滅
の危機にあった虫遊びが今によみ
がえる。